

ヤマトグループは、コンプライアンスを事業経営における最重要課題と位置づけ、事業の収益性のみならず、公共性の高い企業グループとして公正に経営していくことが、企業の持続的な発展の大前提であると認識しています。

そのため、2005年ヤマトグループでは、CSRの観点からグループ企業理念を見直し、改訂いたしました。この企業理念は、グループ社員全員で共有し、CSR経営を確立していきます。

グループ企業理念

ヤマトグループの企業理念は、「経営理念」「企業姿勢」「社員行動指針」という3つの柱で構成されています。

CSR活動

ヤマトグループでは、グループ企業理念にそって「安全」「環境」「社会」の各側面から積極的なCSR活動を継続して行っています。

地域に密着したCSR活動を行うことにより、ステークホルダーの皆様からの信頼を高め、揺るぎない安心と信頼のヤマトブランドを築いていきます。

安全

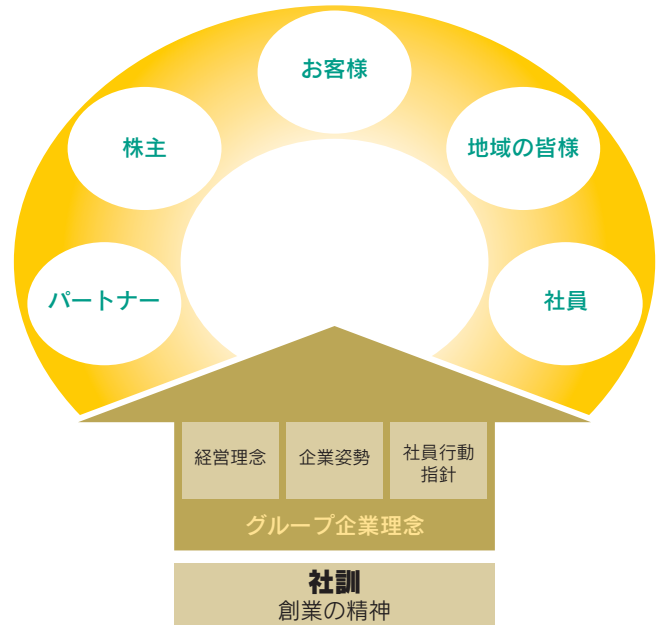
宅急便サテライトセンターの積極的な出店
と車を使わない集配の推進

デリバリー事業のヤマト運輸株式会社では、自動車を使用せず、台車・リヤカー付き電動自転車で集配を行う宅急便サテライトセンターの出店を積極的に展開しています。

市街地や住宅密集地域などエリア特性に応じて安全な集配ができるようになります。また、拠点であるサテライトセンターの出店を積極的に行うことで、セールスドライバーはおお客様のもとへすぐに、そして何度でもお伺いすることが可能となり、お客様の利便性向上のみならず、集配効率の向上へとつながります。

一方、荷物の増量に伴う車両台数の増加が抑制できることにより、環境にやさしい側面もあります。

「グループ企業理念」の構成図



2007年3月期現在、全国に880のサテライトセンターを設置しており、2013年3月期までに累計1,000店の出店を目指しております。

これにより、約1,500台の集配車両の増加を抑制できると見込まれています。

こども交通安全教室 開催1万回を突破

ヤマトグループでは、事業活動において常に「安全第一」を重視しており、中でも子どもの交通事故防止は、重要なテーマの一つです。

1998年より、地域の子どもたちに交通事故から身を守る知識を伝え、同時に社員に対する意識の高揚を図る場として、全国各地で「こども交通安全教室」を開催しています。

指導はすべてヤマト運輸株式会社の社員が担当し、子どもたちが安全について楽しみながら学べる様、着ぐるみを着て、交通ルールを解説するなど、さまざまな工夫をしています。

また、実際の集配車両を使用し、「見て、触れて、考える」安全指導に努めています。

2007年3月期は1,164カ所で開催し、約11万8,000人の子どもたちが参加いたしました。

近年では、幼稚園、小学校に加えて養護施設や老人会などからも開催のご要望をいただいております。今後は、さらに地域性を高めた活動を行ってまいります。

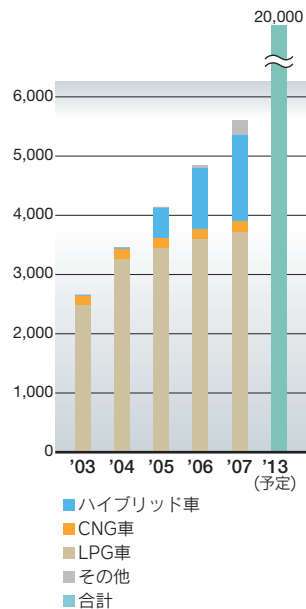
環境

低公害車の集配車両の導入

ヤマト運輸(株)では、2003年9月に、2013年3月期のCO₂総排出量を、2003年3月期比で99%に抑制するため、宅急便1個当たりCO₂排出量を30%削減するという「地球温暖化防止目標」を策定しました。その目標達成の手段として、2013年3月期までに20,000台の低公害車導入を掲げています。

2007年3月期には、ハイブリッド車434台をはじめとした758台の低公害車を導入し、累計の導入台数は5,596台となりました。これによ

低公害車導入の推移



り、ヤマト運輸(株)の全車両台数のうち、低公害車の割合は12.4%となりました。

また、2007年1月、宅急便の象徴であるウォークスルー車のハイブリッド車を本格導入し、2007年3月末までに31台導入いたしました。

こうした環境に対する企業姿勢を評価いただき、2006年、トヨタ自動車株式会社より依頼を受け、燃料電池ハイブリッド車実用化に必要な種々のデータ提供のためのテスト運行に協力しています。

クロネコヤマト環境教室

2005年10月、ヤマト運輸(株)は、「クロネコヤマト環境教室」をスタートしました。

運輸業を営む企業の社会的責任として、次世代を担う子どもたちへの環境教育をサポートしています。また、「クロネコヤマト環境教室」を通し、社員自身の環境意識向上や、実際に取り組んでいる環境保護活動の再認識なども目的の一つです。

環境教室は、とくに、同社の最優先取り組み事項である「宅急便の仕組みと地球温暖化防止」をテーマとし、同社の社員が学校へ出向いて教室を開講しています。

2007年3月期は241回開催しました。今後も、より地域に密着した活動を続け、公共性の高い事業を営むグループとしてCSR活動を続けてまいります。

